

第2次国東市総合計画に基づく施策の状況(国東市広報誌6月号抜粋)

2 出会い・移住・担い手促進プロジェクト 定住力

移住促進施策

国東市への移住者

平成28年度
37名

平成29年度
74名

その影響

第6回「住みたい田舎」ベストランキング
小さなまち部門

(人口10万人未満の回答のあった565自治体中)

総合部門 10位

子育て世代が住みたい田舎部門 3位

シニア世代が住みたい田舎部門 4位

若者世代が住みたい田舎部門 5位

(出典「田舎暮らし本」)

今、国東市は全国の移住希望者から注目されているよ



地域おこし協力隊の積極的な活用

空き家バンクや特産品販路拡大、オリーブ普及員など様々な分野で活躍中

平成28年度まで 18名
平成29年度 5名



5月から着任した右から長尾恵利華さん、原哲平さん、大関久里佳さん

空き家活用支援事業 登録物件数 県内トップクラス

登録物件 61件 (4月末時点)

平成22年度から平成29年度まで移住者 113世帯 264名

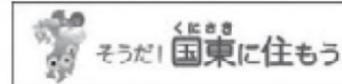


起業・創業スタートアップ事業

都市圏や都市部の移住・起業希望者にWEB等を通じて情報発信。サポーター 1,104名獲得する。

平成28年度 11名移住

平成29年度 10名移住



新築・購入応援奨励金事業

平成28年度 利用者 25件

市内 20件

市外 5件 91名

平成29年度 利用者 64件

市内 45件

市外 19件 203名



移住シングルペアレント生活応援事業

ひとり親家庭が公営または民間の経営する賃貸住宅に入居した場合、家賃及び引っ越し費用の一部を補助

平成28年度 2世帯 7名

平成29年度 2世帯 4名



担い手促進施策

就農学校の修了生

県内第2位

国東市には、こねぎと花きの就農学校があり、そこから就農した人は18名

こねぎトレーニングファーム修了生 15名

花学校修了生 3名



県内外から若い人が就農に来てくれるよ



国東市の総合計画に基づく施策の状況

これまでご紹介してきた総合計画が、市の施策にどのように反映され、どのような効果があったのかを、重点戦略プロジェクト毎にご紹介します。

1 福祉・安全・子育て充実プロジェクト 地元力

子育て充実施策



子育て環境を整えるため、県内トップクラスの施策がたくさんあるよ

子育て入学祝金

県内2自治体のみの取り組み

小学校・中学校に入学した児童・生徒の保護者に支給

小学校入学時 3万円
中学校入学時 5万円



保育料軽減事業

県内トップ

第2子以降の全額免除は国東市のみ

保育所やこども園への入園が、約100名増加



ファミリーサポートセンター事業 県内トップクラス

利用料の半額を助成します。平日8時~19時まで300円/1時間で利用できます。夜間、休日料金についても半額となります。



チャイルドシート支援制度

県内2自治体のみの取り組み

市内でチャイルドシートを購入した場合、最大2万円の補助

※貸し出しをする自治体は他にもあります。



今年度拡充した子ども医療費助成

県内トップクラス

通院は中学生まで、入院は高校生まで無償化。さらに、全ての対象者の入院時食事療養費を無償化しました。



任意ワクチン接種 県内トップクラス

おたふくかぜ、ロタ1価、ロタ5価、インフルエンザの各必要接種回数全てを助成。また、風しん予防接種等の助成対象を市民全体に拡大しているのは国東市のみ。

※特におたふくやロタの予防接種は、多くの方に利用されています。



地域で子どもの学びを支援する協育ネットワーク 4年連続 文部科学大臣表彰受賞

平成26年度 国東中学校区放課後学びの教室

平成27年度 国見中学校区放課後チャレンジ教室

平成28年度

安岐地域ネットワーク

平成29年度

武蔵地域ネットワーク



県内2番目

義務教育学校創設事業

平成32年度開校予定
詳しい内容はP12掲載



5月から設置した「子育て世代包括支援センター(関連記事P27に掲載)」をはじめ、10月からは毎週日曜日に武蔵保健福祉センター内の児童室を開放する「子どもの遊び場開放」も始まり、子育て環境はますます充実していきます。

福祉充実施策

週一元気アップ教室

地域で中心になる人を育て健康の維持増進を図る教室

さきくんで元気体操普及リーダー

平成29年度

62人養成



元気高齢者健やかサロン事業

高齢者が簡単に通える場所で交流する地域活動組織 平成29年度までに207団体

地域で支える体制づくりが、整っているよ



生活支援サービス体制整備

県内でも先進的取組

くらしのサポートセンター「かもめ(竹田津地区)」や「あらたに(上国崎地区)」。さらに、熊毛地区、旭日地区、武蔵西地区の3地区が加わります。今年3月、市内の団体と連携を図るため、くにさき地域応援協議会「寄ろう会」を設立し、支え合いの体制が充実しました。



このような事業を行ってきた結果 1人あたりの介護予防給付費
平成26年度 23,545円 → 平成29年度 17,428円 ▲6,117円

第2次国東市総合計画に基づく施策の状況(国東市広報誌6月号抜粋)

観光創出施策

グリーンツーリズム

平成28年度 890人
↓
平成29年度 2,149人



国東市に多くの人
が来るようになって
いるよ。



ロングトレイル

平成28年度 2,767人
↓
平成29年度 3,720人



外国人観光客数

平成28年度 11,808人
↓
平成29年度 21,993人



寺社の客数推移

六郷満山開山
1300年の機
運が高まっ
ています。



平成28年度 132,891人
→ 平成29年度 143,543人
(6か所の寺社での集計値)



昨年9月に九州
国立博物館で開
催した六郷満山
展に延べ6万
2,403人来場

今年3月から始
まった鬼巡りは、
用意した専用の
台紙3,000枚が
完売



アンテナショップ(クワトロヨッチ)主催の観光ツアー

オープンしてから3年、国東半島の情報発信の拠点として誘客活動中
平成28年度 828名
→ 平成29年度 2,926名



国民文化祭プレイベント

平成29年度の3つのイベントで、合計で1,308人が来場



政策企画課長のコメント



政策企画課長
原田 須恵宏

国東市は、「第2次国東市総合計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」など将来を見据えた各種施策を行っています。さらに、ふるさと納税制度や資金運用で得た財源を基に国東市独自の施策を行う「くにさき地方創生枠」を設け、県内のどの市町村にも引けをとらない魅力的な「まちづくり」を行っています。さらに、この良い流れを加速していくためには、より多くの方が国東市の置かれている状況を認識し、今ある施策を活用する中で改善していく必要があると考えています。

今回策定された「第2次国東市総合計画後期基本計画」を契機に、市民の皆様と一緒に、より魅力的なまちづくりを目指していきます。

なお、計画書は市役所や総合支所の窓口にご用意しているほか、国東市のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧になってください。

【問合せ】政策企画課 ☎0978-72-5161

3 新産業・賑わい・観光創出プロジェクト 新活力

新産業創出施策



新たに生れた産業もしっかりと根付いているよ



くにさきオイスター 生食用カキ生産量

県内第2位

生産量
平成28年度 11万個 → 平成29年度 15万個
県内取扱店舗
平成28年度 25店 → 平成29年度 32店
全国取扱店舗
平成28年度 94店 → 平成29年度 156店



味一ねぎ生産量

県内第2位

生産量
平成28年度 357トン 3億2千万円
平成29年度 470トン 3億9千万円
平成30年度は県内1位の生産量を目指します。



国東オリーブ

県内唯一の生産地から全国有数の生産地へ
平成27年度 11.1ヘクタール
平成28年10月
キュウセツAQUAが植樹開始
平成29年度 30.7ヘクタール



賑わい創出施策

企業立地

平成23年度から平成28年度まで 10件
平成29年度 3件

6月に工場増設を表明▶
大分パーカラライジング
株式会社



◀8月に工場増設を表明
ヤンマー造船株式会社

創業・起業支援

平成28年度 9件 平成29年度 7件

補助金額
創業・起業する人に“最大150万円”
(※対象経費の2分の1以内)



企業合同就職説明会

大学生などを対象に
春と夏の年2回実施
平成28年度 11名
平成29年度 12名
(就職者)

